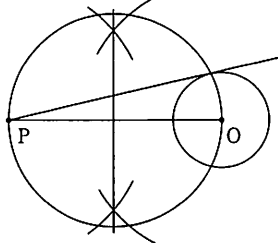


問 題	正 答	配 点	採 点 上 の 注 意
1	(1) $\frac{x-y}{6}$	4	
	(2) 6	4	
	(3) $x = 3, \frac{5}{2}$	4	
	(4) $a = \frac{3}{2}, b = -\frac{13}{8}$	4	
	(5) $\frac{5}{6}$	5	
	(6) ウ	5	
	(7) 24π (cm^2)	5	
	(8) 7 (回)	5	
	(9) (記号) イ (説明) (例) 母集団から無作為に選んでいるので最も適切である。	6	内容に応じて部分点を認める。
2	(1) (例) 	5	内容に応じて部分点を認める。
	(2) (証明) (例) △ABE と △CDF において、 仮定から、 ∠AEB = ∠CFD = 90° ……………① 平行四辺形の対辺はそれぞれ等しいので、 AB = CD ……………② また、AB // DC から錯角は等しいので、 ∠ABE = ∠CDF ……………③ ①、②、③から、△ABE と △CDF は直角三角形で、斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので、 △ABE ≅ △CDF よって、AE = CF ……………④ また、∠AEF = ∠CFE = 90° から錯角が等しいので、 AE // FC ……………⑤ ④、⑤から、1組の対辺が平行でその長さが等しいので、四角形 AECF は平行四辺形である。	7	1 2 要点をおさえ、論理の筋道がとれているものは、正答とする。 内容に応じて部分点を認める。

問 題	正 答	配 点	採 点 上 の 注 意	
3	(1) 6.4 (m)	5	1 1	
	(2) 26.5 (m)	6		
4	(1) $y = -x + 12$	5	内容に応じて部分点を認める。	
	(2) ① (説明) (例) 点 P の x 座標を t とおくと、座標は $P(t, \frac{1}{2}t^2)$ 。 $Q(12 - \frac{1}{2}t^2, \frac{1}{2}t^2)$, $R(t, 0)$ となる。 正方形は辺の長さが等しいので、 PQ = PR $12 - \frac{1}{2}t^2 - t = \frac{1}{2}t^2$ $t^2 + t - 12 = 0$ $t = 3, -4$ t の値はどちらも問題にあっている。 t = 3 のとき、 $(3, \frac{9}{2})$ t = -4 のとき、 $(-4, 8)$ (答え) $(3, \frac{9}{2}), (-4, 8)$	7		1 8
	② (0, 12), (6, 6)	6		
5	(1) $\frac{4\sqrt{2}}{3} + 8$ (cm^3)	5	内容に応じて部分点を認める。	
	(2) 6 (本)	5		
	(3) (説明) (例) 平面 PAEGC において、EQ の延長と GC の延長の交点を R、AC の中点を I とすると、ER は点 I を通るので、CR = 2 となる。 また、△PQI と △CQR において、 対頂角は等しいので、 ∠PQI = ∠CQR ……………① 平行線の錯角は等しいので、 ∠PIQ = ∠CRQ ……………② ①、②から、2組の角がそれぞれ等しいので、 △PQI ∽ △CQR したがって、 PQ : QC = PI : CR = $\sqrt{2} : 2$ (答え PQ : QC =) $\sqrt{2} : 2$	7		1 7
配 点 合 計		1 0 0		